

正太寺通信

第4号

主 張

「いつかは喫茶コーナー」

副住職の正哲です。いまお檀家さん宅を「おとき」に伺うのに忙しい日々を送っています。お檀家さんにしてみれば一度きりのお経ですが、私からすれば同じお経を繰り返し読み続けるのがおときです。ひたすら読み続ける中での楽しみは、お茶をいただきながらの世間話の時間。私どもの都合でお茶をいただかないこともあるのですが、本当はお経よりもお話に時間を割きたいと思っているくらいです。

入出・太田地区のお檀家さんは年に二度、鷲津・新所原地区は年に一度、市外となると法事がなければこちらから伺うことが無いお宅も多いです。おときのお経を読みながら伺って、ついでにいろんなお話をするといいのは、大変貴重な時間な

のです。ご供養のお経も大切ですが、その意義を知っていただくことも大切ですし、またお話をしながらお寺のことを知っていただくのも、お檀家さん一人一人のことを知ること、大切だと思います。お経を読んでハイさよならでは、お経の功德も減ってしまうように感じています。

ですからついつい長話になつてしまうこともしばしば。忙しい合間を縫ってお迎えいただきしている皆さんには大変申し訳ありません。

しかしそうして直接お話をすることはやはり得がたない機会です。なるべく増やしていきたいと、考えています。おときの時期だけでは限界がありますから、お寺へお参りに寄つていただきたときにいろいろとお話が出来ればとてもよろしいかと思えます。そこで今回のお題である、喫茶コー

ナーの構想が出てくるので

自身の忙しさもあつて今すぐにといいわけにはいきませんが、お寺の一角に、本堂の中が良いでしょう

か、ちよつとした喫茶コーナーを設けて、寺務室で仕事をしていたらどなたかがお参りに来たのは分かりますから、呼び止めてお茶を一服していただいて、その間に少し世間話でもさせていただけたらと、考えています。老後の楽しみではありません、近い将来の構想です。

喫茶コーナーという大げさですが、机があればあとはポットと急須と湯飲みがあれば十分でしょう。幸い本堂の西にも東にも池があります。そこを眺めながら一服するのは、悪くないと思えますが、いかがですか？

仏教を信仰する人々のための物です。喫茶コーナーへのご意見と共に、お寺を有効に活用するアイデアを、是非お寄せください。

お葬式って？

帰依三宝

連載④

剃髪し、懺悔し、灌頂水を頂いた後に臨むのが、帰依三宝の儀式です。帰依とは信仰生活の拠り所とすること、三宝とは仏・法・僧

ということ、おしえは煩惱を離れた徳です。僧とは僧侶のこと、すなわち、修行の仲間のことです。助け合ひ、励まし合つて修行を続けていく仲間です。これら三つの大切な宝を、信仰生活の拠り所といたしますと、声に出してお誓いするのです。

「南無帰依仏 南無帰依法
南無帰依僧
南無帰依無上尊
南無帰依離塵尊
南無帰依和合尊
南無帰依法界尊
南無帰依虚空尊
南無帰依妙相尊
南無帰依妙好尊
南無帰依妙色尊
南無帰依妙音尊
南無帰依妙香尊
南無帰依妙味尊
南無帰依妙触尊
南無帰依妙法尊
南無帰依妙智尊
南無帰依妙力尊
南無帰依妙業尊
南無帰依妙智尊
南無帰依妙力尊
南無帰依妙業尊
南無帰依妙智尊
南無帰依妙力尊
南無帰依妙業尊」

三宝に帰依することによつて、葬儀という授戒の儀式の目的である、戒律を授かる準備が出来ました。次回は、いよいよクライマックスです。

初詣は正太寺へ！

正月三が日は毎朝6時より皆さんと共に朝のお勤めをいたします。短い時間で、甘酒の振る舞いもございませぬ。何よりお勤め後に眺める日の出は、例えようのない美しさです。少し寒いですが、ストーブで精一杯暖めてお待ちしております。ぜひ来年の初詣は、正太寺へお越しください。

発行人 曹洞宗宇津山正太寺

住職 穴水春男

副住職 穴水正哲

編集人 静岡県湖西市入出八〇〇番地

電話〇五三一五七八一〇〇四九

http://www.shotaiji.or.jp/ info@shotaiji.or.jp